

特別講演 1

座長：山野 嘉久

ロボットスーツ HAL による新しい未来開拓への挑戦 ―臨床展開の現状未来―20

山海 嘉之

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授

筑波大学 サイバニクス研究センター センター長

CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長／CEO

Session 2 HTLV-1 関連疾患 (HAM・HU 等)

座長：久保田 龍二、鴨居 功樹

O-11 HAM の歩行不安定症に対する歩行改善プログラムに関する検討31

遠藤 寿子¹⁾、中島 孝¹⁾、池田 哲彦¹⁾、大田 健太郎¹⁾、會田 泉¹⁾、米持 洋介¹⁾、山野 嘉久²⁾

1) 国立病院機構新潟病院神経内科

2) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター

O-12 HTLV-1 関連脊髄症(HAM)の臨床的評価指標の有用性に関する検討31

佐藤 知雄¹⁾、井上 永介²⁾、新谷 奈津美¹⁾、高橋 克典¹⁾、國友 康夫¹⁾、Ariella Coler-Reilly¹⁾、山内 淳司¹⁾、

八木下 尚子¹⁾、山野 嘉久¹⁾

1) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門

2) 国立成育医療研究センター研究所 臨床研究教育部 生物統計室

O-13 HAM 発症関連ウイルス多型が宿主・ウイルス遺伝子発現および臨床経過に及ぼす影響の解析32

齊藤 峰輝¹⁾、安間 恵子²⁾、松崎 敏男³⁾、高嶋 博³⁾、松岡 雅雄²⁾

1) 川崎医科大学 微生物学

2) 京都大学ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域

3) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 神経内科・老年病学

O-14 HTLV-1 ぶどう膜炎の臨床像32

鴨居 功樹^{1,2)}、寺田 裕紀子¹⁾、宮田 和典³⁾、望月 學^{1,3)}

1) 東京医科歯科大学 眼科

2) 東京大学医科学研究所 附属病院

3) 宮田眼科病院

O-15 急性型 ATL と HTLV-1 ぶどう膜炎の同時発症の 1 例

Simultaneous development of acute type ATL and HTLV-1 associated uveitis33

平野 光人¹⁾、大野 伸広¹⁾、小林 誠一郎²⁾、石垣 知寛³⁾、田野崎 隆二⁴⁾、鴨居 功樹⁵⁾、望月 學⁵⁾、内丸 薫¹⁾、

東條 有伸^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科

2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野

3) 東京大学医科学研究所 幹細胞治療センター 幹細胞治療分野

4) 国立がん研究センター 中央病院 輸血療法科

5) 東京医科歯科大学 眼科

O-16 HTLV-1 キャリアに合併した関節リウマチに対する生物学的製剤の使用で HTLV-1 ぶどう膜炎と

HTLV-1 関連脊髄症が悪化した 1 例33

寺田 裕紀子¹⁾、鴨居 功樹¹⁾、山野 ちなみ²⁾、山野 嘉久³⁾

1) 東京医科歯科大学 眼科

2) やまのクリニック

3) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター

Session 3 臨床検査・バイオマーカー

座長：今泉 芳孝、森下 和広

- O-17 高感度 PCR 法および Line Immunoassy による HTLV-1 抗体陽性の確認34
 梅木 一美¹⁾、橋倉 悠輝¹⁾、山本 成郎¹⁾、岡山 昭彦^{1,2)}
 1) 宮崎大学医学部附属病院検査部
 2) 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染症病態学
- O-18 次世代シーケンサーによる HAM 疾患感受性遺伝子の探索34
 野妻 智嗣¹⁾、松浦 英治¹⁾、久保田 龍二²⁾、児玉 大介²⁾、松崎 敏男²⁾、渡邊 修¹⁾、三井 純³⁾、石浦 浩之³⁾、
 高橋 祐二³⁾、山野 嘉久⁴⁾、森下 真一⁵⁾、辻 省次³⁾、出雲 周二²⁾、高嶋 博¹⁾
 1) 鹿児島大学大学院 神経病学講座 神経内科・老年病学
 2) 鹿児島大学大学院 難治ウイルス病態制御研究センター 分子病理病態研究分野
 3) 東京大学医学部 神経内科
 4) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病院病態解析部門
 5) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 情報生命科学専攻
- O-19 Genome-wide association study of HTLV-1 associated myelopathy reveals association in the HLA locus in Japanese population35
 Marina Penova¹⁾, Jun-ichiro Yasunaga²⁾, Mineki Saito³⁾, Tomoo Sato⁴⁾, Satoshi Nozuma⁵⁾, Eiji Matsuura⁵⁾,
 Ryuji Kubota⁵⁾, Toshio Matsuzaki⁵⁾, Shuji Izumo⁵⁾, Hiroshi Takashima⁵⁾, Yoshihisa Yamano⁴⁾,
 Masao Matsuoka²⁾, Fumihiko Matsuda¹⁾, Yasuharu Tabara¹⁾
 1) Center for Genomic Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
 2) Institute for Virus Research, Kyoto University
 3) Kawasaki Medical School
 4) Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine
 5) Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences
- O-20 血中可溶型 CADM1/TSLC1 測定による ATL 診断法の開発35
 中武 彩子¹⁾、小林 行治²⁾、中畑 新吾¹⁾、西片 一朗¹⁾、岩永 正子³⁾、相良 康子⁴⁾、北中 明⁵⁾、天野 正宏⁶⁾、
 前田 宏一⁷⁾、末岡 栄三朗⁸⁾、瀬戸山 充⁹⁾、岡山 昭彦⁹⁾、宇都宮 與¹⁰⁾、下田 和哉⁵⁾、渡邊 俊樹¹¹⁾、森下 和広¹⁾
 1) 宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野・HTLV-1/ATL 総合診療教育ファシリティー
 2) アドテック株式会社
 3) 東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター
 4) 日本赤十字社九州ブロック血液センター
 5) 宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野
 6) 宮崎大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学分野
 7) 国立病院機構都城病院
 8) 佐賀大学医学部附属病院輸血部
 9) 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染症病態学分野
 10) 今村病院分院血液内科
 11) 東京大学医科学研究所
- O-21 WB 判定保留事例の Follow-up - HTLV-1 抗体確認検査に関する考察36
 井上 由紀子¹⁾、守田 麻衣子¹⁾、相良 康子¹⁾、後藤 信代¹⁾、倉光 球²⁾、浜口 功²⁾、迫田 岩根¹⁾、入田 和男^{1, 3)}、
 清川 博之¹⁾
 1) 日本赤十字社九州ブロック血液センター
 2) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部
 3) 佐賀県赤十字血液センター

Session 4 疫学

座長：岡山 昭彦、岩永 正子

- 0-22 輸血による HTLV-1 感染を引き起こすプロウイルス量の推測:現行の輸血用血液製剤における HTLV-1 感染リスクの検証.....37
 蕎麦田 理英子¹⁾、松本 千恵子¹⁾、内田 茂治¹⁾、鈴木 雅治²⁾、佐竹 正博¹⁾、田所 憲治¹⁾
 1) 日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所
 2) 日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター
- 0-23 長崎県における成人 T 細胞白血病の空間疫学.....37
 江端 由穂¹⁾、星友 矩^{2,3)}、後藤 健介⁴⁾、早田 みどり⁶⁾、金子 聡^{3,5)}
 1) 長崎大学医学部医学科
 2) 長崎大学・熱帯医学研究所・生態疫学分野
 3) 長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科
 4) 大阪教育大学・学校危機メンタルサポートセンター
 5) 放射線影響研究所・長崎研究所
 6) 長崎大学・大学院国際健康開発研究科
- 0-24 九州における HTLV-1 キャリアの地理的分布の現状.....38
 相良 康子¹⁾、守田 麻衣子¹⁾、井上 由紀子¹⁾、後藤 信代¹⁾、平山 秀明¹⁾、迫田 岩根¹⁾、入田和 男^{1,2)}、
 清川 博之¹⁾
 1) 日本赤十字社九州ブロック血液センター
 2) 佐賀県赤十字血液センター
- 0-25 長崎県における ATL 罹患率の Age-Period-Cohort 解析：1986～2010 年.....38
 岩永 正子¹⁾、早田 みどり^{2,3)}
 1) 東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター
 2) 放射線影響研究所長崎研究所
 3) 長崎県がん登録室
- 0-26 HAM 患者登録システム「HAM ねっと」を用いた疫学的解析39
 山野 嘉久¹⁾、木村 美也子²⁾、八木下 尚子¹⁾、鈴木 弘子³⁾、石川 美穂¹⁾、小池 美佳子¹⁾、齊藤 祐美¹⁾、
 新谷 奈津美¹⁾、佐藤 知雄¹⁾、高田 礼子²⁾
 1) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門
 2) 聖マリアンナ医科大学 予防医学
 3) 聖マリアンナ医科大学病院 難病相談
- 0-27 新規臨床情報解析プログラムによる HTLV-1 関連疾患データベースの作成.....39
 末岡 榮三朗¹⁾、柘植 薫²⁾、渡邊 達郎¹⁾、進藤 岳郎³⁾、柳原 克紀⁴⁾、木村 晋也³⁾
 1) 佐賀大学医学部臨床検査医学講座
 2) 佐賀大学医学部附属病院検査部
 3) 佐賀大学医学部血液腫瘍内科
 4) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野

懇親会

8月24日(日)

9:00-10:00

Session 5 ウイルス学・分子病態

座長：藤澤 順一、藤井 雅寛

- 0-28 ATL細胞におけるCADM1高発現に必須なNF- κ B活性化には、新規制御因子p47の発現低下が関係する40
西片 一郎¹⁾、市川 朝永¹⁾、中畑 新吾¹⁾、藤井 雅寛²⁾、伊波 英克³⁾、白神 俊幸¹⁻⁴⁾、田中 勇悦⁵⁾、
井上 純一郎⁶⁾、森下 和広¹⁾
1) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野
2) 新潟大学 医歯学総合研究科 ウイルス学分野
3) 大分大学 医学部 微生物学講座
4) ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 食品栄養学科
5) 琉球大学 大学院医学研究科 免疫学講座
6) 東京大学 医科学研究所 分子発癌分野
- 0-29 HTLV-1 Tax によるIKK複合体活性化に必要な因子の同定と解析40
柴田 佑里¹⁾、尾山 大明²⁾、秦 裕子²⁾、井上 純一郎¹⁾
1) 東京大学 医科学研究所 分子発癌分野
2) 東京大学 医科学研究所 疾患プロテオミクス
- 0-30 宿主F-boxタンパク質FBXL11はTaxとHBZのユビキチン化を誘導し機能を活性化する41
安永 純一郎、園 直希、馬広 勇、萩谷 啓太、松岡 雅雄
京都大学ウイルス研究所、ウイルス制御
- 0-31 ATL細胞内NF- κ B経路活性化に対するPKR分子とHTLV-1LTR領域由来転写産物の寄与41
金原 秀一¹⁾、斉藤 愛記²⁾、長谷川 温彦¹⁾、宇都宮 與³⁾、増田 昌人⁴⁾、宮崎 泰司⁵⁾、松岡 雅雄⁶⁾、中村 正孝⁷⁾、
山岡 昇司²⁾、増田 貴夫¹⁾、神奈木 真理¹⁾
1) 東京医歯科大学 免疫治療学
2) 東京医科歯科大学 医学部ウイルス制御学
3) 慈愛会今村病院分院 血液内科
4) 琉球大学付属病院 がんセンター
5) 長崎大学 原研 内科
6) 京都大学ウイルス研究所
7) 東京医科歯科大学 疾患遺伝子実験センター
- 0-32 クロマチン高次構造制御分子CTCFによるHTLV-1プロウイルス制御機構42
佐藤 賢文^{1,2,3)}、宮里 パオラ^{2,3)}、福田 麻美^{2,3)}、野坂 生郷⁴⁾、石原 宏²⁾、中尾 光善⁵⁾、Charles Bangham¹⁾
1) 英国インペリアル大学感染症部門免疫学
2) 熊本大学大学院先端機構
3) 熊本大学エイズ学研究センター
4) 熊本大学医学部附属病院がんセンター
5) 熊本大学発生医学研究所
- 0-33 ATL細胞におけるEZH2依存的エピジェネティック異常の包括的解析42
藤川 大¹⁾、山岸 誠¹⁾、黒川 直也¹⁾、副島 あい¹⁾、中川 翔太¹⁾、石田 尚臣²⁾、田中 勇悦³⁾、中野 和民¹⁾、
渡邊 俊樹¹⁾
1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
2) 東京大学医科学研究所
3) 琉球大学大学院医学系研究科

10:00-11:00

Session 6 免疫及びモデル動物

座長：松岡 雅雄、神奈木 真理

- 0-34 HAMにおける抗CCR4抗体療法の有用性およびCCR4+CD8+T細胞の異常に関する検討43
山内 淳司¹⁾、新谷 奈津美¹⁾、安藤 仁¹⁾、國友 康夫¹⁾、高橋 克典¹⁾、Ariella Coler-Reilly¹⁾、八木下 尚子¹⁾、
佐藤 知雄¹⁾、宇都宮 與²⁾、山野 嘉久¹⁾
1) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因病態解析部門
2) 今村病院分院 血液内科

O-35 HTLV-1 モデルマウスである HBZ-Tg マウスにおける癌幹細胞の同定と機能解析	43
栗林 和華子 ^{1,2)} 、水上 拓郎 ¹⁾ 、滝澤 和也 ¹⁾ 、倉光 球 ¹⁾ 、浅田 善久 ³⁾ 、岩間 厚志 ²⁾ 、松岡 雄雅 ⁴⁾ 、濱口 功 ¹⁾	
1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部	
2) 千葉大学医学薬学部 細胞分子医学	
3) 東京理科大学薬学部	
4) 京都大学ウイルス研究所	
O-36 HTLV-1 bZIP factor が惹起する炎症には IFNγ が重要な役割を果たす	44
三田上 侑生 ¹⁾ 、安永 純一郎 ¹⁾ 、大島 孝一 ²⁾ 、松岡 雅雄 ¹⁾	
1) 京都大学ウイルス研究所	
2) 久留米大学医学部病理学教室	
O-37 TCF1/LEF1 are T-cell natural HTLV-1 Tax antagonists that restrict viral expansion in thymus	44
Guangyong Ma, Jun-ichiro Yasunaga, Masao Matsuoka	
Lab of virus control, Institute for virus research, Kyoto University	
O-38 HAM における HTLV-1 抗原遺伝子変異と CTL 認識	45
久保田 龍二 ¹⁾ 、齋藤 峰輝 ²⁾ 、高嶋 博 ³⁾ 、出雲 周二 ¹⁾	
1) 鹿児島大学難治ウイルス研	
2) 川崎医科大学微生物学	
3) 鹿児島大学神経内科	
O-39 抗 HTLV-1 gp46 中和 ADCC 抗体による <i>in vivo</i> HTLV-1 感染制御	45
藤猪 英樹 ¹⁾ 、清水 衡 ²⁾ 、高橋 良明 ¹⁾ 、田中 礼子 ^{1,3)} 、田中勇悦 ¹⁾	
1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座	
2) (株) 免疫生物研究所 (IBL)	
3) (株) RIMCO	

11:00-12:00

Session 7 新規診断・治療の探索

座長：塚崎 邦弘、石田 高司

O-40 HTLV-1 キャリア由来細胞株を用いたクローン解析	46
長谷川 寛雄 ^{1,2)} 、谷口 広明 ³⁾ 、藤本 健志 ⁴⁾ 、波多 智子 ⁵⁾ 、池田 柁一 ⁶⁾ 、上平 憲 ⁷⁾ 、佐々木 大介 ¹⁾ 、 淵上 麻衣 ¹⁾ 、鶴田 一人 ¹⁾ 、今泉 芳孝 ⁵⁾ 、宮崎 泰司 ⁵⁾ 、柳原 克紀 ^{1,2)}	
1) 長崎大学病院 検査部	
2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	
3) 佐世保市立総合病院	
4) 国立病院機構 長崎病院	
5) 長崎大学病院 血液内科	
6) 平戸市民病院	
7) 長崎みなとメディカルセンター 市民病院	
O-41 CCR4 リガンド TARC を用いた新規抗 HTLV-1 分子標的治療薬の開発	46
大隈 和、日吉 真照、滝澤 和也、齋藤 益満、浜口 功	
国立感染症研究所 血液・安全性研究部	
O-42 CD4 陽性 T 細胞を用いた膜プロテオーム解析による HTLV-1 関連脊髄症に対する新規治療標的分子の探索	47
石原 誠人 ¹⁾ 、新谷 奈津美 ²⁾ 、佐藤 知雄 ²⁾ 、藤井 理沙 ¹⁾ 、最知 直美 ¹⁾ 、宇都宮 與 ³⁾ 、山野 嘉久 ²⁾ 、菅野 純夫 ¹⁾ 、 植田 幸嗣 ¹⁾	
1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 ファンクショナルプロテオミクスセンター ゲノム制御医科学分野	
2) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター	
3) 慈愛会今村病院分院 血液内科	
O-43 HTLV-1 陽性のリンパ腫様丘疹症：成人 T 細胞白血病/リンパ腫の一亜型	47
土井 裕子 ¹⁾ 、梅村 啓史 ¹⁾ 、瀧口 徹也 ^{2,3)} 、吉野 正 ⁴⁾ 、岩月 啓氏 ¹⁾	
1) 岡山大学・皮膚科	
2) 浜松医科大学・形成外科	
3) 広島市民病院・病理診断科	
4) 岡山大学・病理診断科	

0-44	キメリズム解析／HLA-Flow 法による臍帯血移植後の生着、ATL細胞、およびATL細胞のHLAクラスI欠失の解析	48
	佐藤 奈津子 ^{1,2)} 、渡辺 信和 ²⁾ 、渡辺 恵理 ²⁾ 、崔 日承 ³⁾ 、鶴池 直邦 ³⁾	
	1) 株式会社LSIメディエンス	
	2) 東京大学医科学研究所 臨床FACSコアラボ	
	3) 九州がんセンター 血液内科	

0-45	急性型ATLにおける細胞表面抗原のクラスタリング解析とATL幹細胞マーカーの探索	48
	石垣 知寛 ^{1,2)} 、小林 誠一郎 ³⁾ 、大野 伸広 ⁴⁾ 、中野 伸亮 ⁵⁾ 、宇都宮 與 ⁵⁾ 、山崎 聡 ¹⁾ 、渡辺 信和 ²⁾ 、東條 有伸 ^{3,4)} 、中内 啓光 ¹⁾ 、内丸 薫 ⁴⁾	
	1) 東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞治療分野	
	2) 東京大学医科学研究所 臨床FACSコアラボ	
	3) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野	
	4) 東京大学医科学研究所 附属病院 血液腫瘍内科	
	5) 今村病院分院 血液内科	

12:00-13:00

昼食およびポスターセッション

13:00-14:00

Session 8 感染とキャリア支援

座長：森内 浩幸、山口 一成

0-46	妊婦HTLV-1スクリーニングの母子感染予防効果に関する検討	49
	淵 直樹 ¹⁾ 、三浦 清徳 ¹⁾ 、築山 尚史 ¹⁾ 、上平 憲 ³⁾ 、長谷川 寛雄 ²⁾ 、柳原 克紀 ²⁾ 、森内 浩幸 ⁴⁾ 、吉浦 孝一郎 ⁵⁾ 、増崎 英明 ¹⁾	
	1) 長崎大学産婦人科	
	2) 長崎大学臨床検査医学	
	3) 長崎市民病院検査部	
	4) 長崎大学小児科	
	5) 長崎大学原研遺伝	

0-47	長崎県におけるHTLV-1キャリア母体から生まれた児の追跡調査	49
	森内 浩幸 ¹⁾ 、武田 敬子 ¹⁾ 、土居 浩 ²⁾ 、三浦 清徳 ³⁾ 、増崎 英明 ³⁾ 、柳原 克紀 ⁴⁾ 、上平 憲 ⁴⁾	
	1) 長崎大学小児科	
	2) 長崎県小児科医会	
	3) 長崎大学産婦人科	
	4) 長崎大学検査医学	

0-48	妊婦HTLV-1スクリーニングにおけるリアルタイムPCR検査の有用性の検討	50
	築山 尚史、淵 直樹、三浦 清徳、増崎 英明	
	長崎大学 産婦人科	

0-49	HTLV-1 母子感染対策では出生後の支援体制の構築が必要である	50
	根路 銘 安仁 ^{1,3)} 、谷口 光代 ²⁾ 、北村 愛 ²⁾ 、下敷 領 須美子 ²⁾ 、河野 嘉文 ³⁾	
	1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター	
	2) 鹿児島大学医学部保健学科	
	3) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野	

0-50	HTLV-1 専門外来における心理面接の特徴と心理支援の必要性	51
	柘植 薫 ¹⁾ 、木村 晋也 ²⁾ 、末岡 榮三朗 ³⁾	
	1) 佐賀大学 医学部 附属病院 検査部	
	2) 佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科	
	3) 佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座	

0-51	献血者のデータから明らかになったHTLV-1水平感染の実態	51
	佐竹 正博 ¹⁾ 、相良 康子 ²⁾ 、岩永 正子 ³⁾ 、浜口 功 ⁴⁾	
	1) 日本赤十字社中央血液研究所	
	2) 日本赤十字社九州ブロック血液センター	
	3) 慈恵医科大学	
	4) 国立感染症研究所	

14:00-14:15 Coffee Break

14:15-14:35

特別講演 2

座長：渡邊 俊樹

HTLV-1 総合対策の概略と現状	22
難波江 功二 厚生労働省 健康局結核感染症課 課長補佐	

14:35-16:30

公開シンポジウム

座長：内丸 薫、末岡 榮三朗

HTLV-1 キャリア対策の充実に向けて～他の感染症対策に学ぶ

講演 1 HTLV-1 キャリア相談体制の現状	24
内丸 薫 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科	
講演 2 東京都の HTLV-1 相談対応の現状	24
大貫 奈穂美 東京都福祉保健局 健康安全部 エイズ・新興感染症担当課長	
講演 3 HIV 相談対応の現状	25
鯉淵 智彦 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科	
講演 4 HBV・HCV に対する相談体制の現状	25
四柳 宏 東京大学医学部 感染症内科	
総合討論 HTLV-1 相談体制の一層の充実のために	

16:30-16:35

閉会の挨拶

ポスター発表

23日 11:05-11:45 : フラッシュトーク 12:30-13:30 : ポスターセッション

24日 12:00-13:00 : ポスターセッション

- P-1 献血データを用いた HTLV-1 性感染率の推定：新しい数理モデルによる統計解析54
江島 伸興¹⁾、田畑 稔²⁾
1) 大分大学医学部 数学・統計学講座
2) 大阪府立大学工学部 第2学群数学系
- P-2 喫煙は ATL 発症のリスクファクターか?54
近藤 久義¹⁾、早田 みどり²⁾、今泉 芳孝³⁾、宮崎 泰司⁴⁾
1) 長崎大学原爆後障害医療研究所 資料収集保存・解析部 資料調査室
2) 放射線影響研究所 長崎
3) 長崎大学病院 血液内科
4) 長崎大学原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野
- P-3 当院における HTLV-1 感染者の針刺し皮膚粘膜曝露後のフォローアップ55
吉森 みゆき¹⁾、西垂水 和隆¹⁾、登 美奈子²⁾、室屋 朗子²⁾、高塚 祥芝²⁾、宇都宮 與²⁾
1) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院 感染管理室
2) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院 血液内科
- P-4 見直すべき現行の HTLV-1 母子感染対策55
前濱 俊之、安座間 誠、上地 秀昭
豊見城中央病院 産婦人科
- P-5 HTLV-1 関連脊髄症(HAM)患者登録システム「HAM ねっと」の患者満足度調査56
八木下 尚子¹⁾、有福 厚孝²⁾、菊池 崇之²⁾、木村 未祐奈²⁾、佐藤 健太郎²⁾、石川 美穂¹⁾、鈴木 弘子³⁾、
小池 美佳子¹⁾、齋藤 祐美¹⁾、新谷 奈津美¹⁾、佐藤 知雄¹⁾、木村 美也子⁴⁾、高田 礼子⁴⁾、山野 嘉久¹⁾
1) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門
2) 聖マリアンナ医科大学 第4学年
3) 聖マリアンナ医科大学病院 難病相談
4) 聖マリアンナ医科大学 予防医学教室
- P-6 成人 T 細胞白血病の肺病変と同種造血幹細胞移植後治療関連死亡：肺における微小環境形成に関する臨床的考察56
武本 重毅^{1,2,3)}、ポルクナ ラティオン²⁾、日高 道弘^{3,4)}、富高 悦司⁵⁾、村山 寿彦^{4,6)}、芳賀 克夫^{2,4)}、
河野 文夫³⁾
1) 国立病院機構熊本医療医療センター 臨床検査科
2) 熊本大学大学院医学教育部 臨床国際協力学分野
3) 国立病院機構熊本医療医療センター 血液内科
4) 国立病院機構熊本医療センター 臨床研究部
5) 国立病院機構熊本医療センター 放射線科
6) 国立病院機構熊本医療センター 病理診断科
- P-7 CENP-B 依存的なヒストンメチル化修飾における HTLV-1 bZIP factor の役割57
向井 理紗¹⁾、大島 隆幸^{1,2)}
1) 徳島文理大学大学院 工学研究科
2) 徳島文理大学大学院 香川薬学研究科
- P-8 HTLV-1 キャリアの可溶性 CD30 血中濃度と成人 T 細胞白血病発症リスク：症例対照研究57
武本 重毅^{1,2,7)}、岩永 正子^{3,7)}、ポルクナ ラティオン¹⁾、相良 康子^{4,7)}、鶴澤 耕治⁵⁾、守田 和樹⁵⁾、
渡邊 俊樹^{6,7)}
1) 熊本大学大学院 医学教育部 臨床国際協力学分野
2) 国立病院機構熊本医療センター 臨床検査科
3) 東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター
4) 日本赤十字社九州ブロック血液センター
5) 協和メデックス株式会社研究所
6) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻
7) HTLV-1 感染者コホート共同研究班 (JSPFAD)

P-9	臨床検査からみた HTLV-1 サザンブロット法の実態と病態解析.....58 北之園 英明 ¹⁾ 、長谷川 寛雄 ^{2,3)} 、佐々木 大介 ²⁾ 、宇野 直輝 ^{2,3)} 、今泉 芳孝 ¹⁾ 、上平 憲 ⁴⁾ 、柳原 克紀 ^{2,3)} 、 宮崎 泰司 ¹⁾ 1) 長崎大学病院 血液内科 2) 長崎大学病院 検査部 3) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 4) 長崎みなとメディカルセンター市民病院
P-10	HTLV-1 感染者の新鮮及び培養 PBMC の Tax 抗原発現: Tax 抗原簡便フローサイトメトリー (Tax-FCM) を用いた解析.....58 田中 勇悦 ¹⁾ 、高橋 良明 ¹⁾ 、藤猪 英樹 ¹⁾ 、宮城 拓哉 ¹⁾ 、田中 礼子 ¹⁾ 、友寄 毅昭 ²⁾ 、福島 卓也 ³⁾ 1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座 2) 琉球大学 大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 3) 琉球大学 医学部保健学科 血液免疫検査学分野
P-11	細胞外に排出するメタボライトの定量による ATL バイオマーカーの探索.....59 池辺 詠美 ¹⁾ 、緒方 正男 ²⁾ 、手塚 健太 ³⁾ 、ファイフ ニコール ¹⁾ 、松本 昂 ¹⁾ 、末岡 栄三郎 ⁴⁾ 、堀 光雄 ⁵⁾ 、 長谷川 寛雄 ⁶⁾ 、森下 和広 ⁷⁾ 、田中 勇悦 ⁸⁾ 、藤澤 順一 ³⁾ 、西園 晃 ¹⁾ 、伊波 英克 ¹⁾ 1) 大分大学 医学部 微生物学講座 2) 大分大学 医学部 腫瘍・血液内科学講座 3) 関西医科大学 医学部 微生物学講座 4) 佐賀大学 医学部 血液内科学講座 5) 茨城県立中央病院 血液内科 6) 長崎大学 病院検査部 7) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野 8) 琉球大学 医学部 免疫学講座
P-12	HTLV-1 感染細胞のウイルスアセンブリーには N-アセチルラクトサミン糖鎖が必須かもしれない.....59 児玉 大介 ¹⁾ 、久保田 龍二 ¹⁾ 、松崎 敏男 ²⁾ 、高嶋 博 ³⁾ 、出雲 周二 ¹⁾ 1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター・分子病理 2) 医療法人三州会大勝病院神経内科 3) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学
P-13	HTLV-1 感染細胞における自然免疫応答の検討.....60 伊藤 さやか、金原 秀一、金井 秀美、野上 開、Sawada Leila、永野 佳子、長谷川 温彦、神奈木 真理 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学分野
P-14	MT-2 細胞株の HTLV-1 プロウイルスの組み込み部位および内部構造の多様性.....60 橋倉 悠輝 ¹⁾ 、梅木 一美 ¹⁾ 、山本 成郎 ¹⁾ 、長谷川 寛雄 ³⁾ 、柳原 克紀 ³⁾ 、岡山 昭彦 ^{1,2)} 1) 宮崎大学医学部附属病院検査部 2) 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野 3) 長崎大学大学院医歯薬総合研究科病態解析・診断学分野
P-15	HTLV-1 感染細胞における A20 はユビキチン化修飾酵素活性非依存的に細胞生存を支える.....61 斉藤 愛記 ¹⁾ 、持田 佳奈子 ¹⁾ 、鶴山 恵理 ¹⁾ 、徳永 文稔 ²⁾ 、山岡 昇司 ¹⁾ 1) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学 2) 群馬大学 生体調節研究所 分子細胞制御
P-16	Single nucleotide polymorphisms of A20, a functional partner of Tax1bp1, and its relationship with various inflammatory diseases: a study in Oita prefecture.....61 Fife Nichole ¹⁾ 、Ikebe Emi ¹⁾ 、Matsumoto Takashi ¹⁾ 、Ishii Koji ²⁾ 、Ogata Masao ³⁾ 、 Imai Hiromitsu ⁴⁾ 、Takahashi Naohiko ⁵⁾ 、Kubota Toshiaki ⁶⁾ 、Nishizono Akira ¹⁾ 、Iha Hidekatsu ¹⁾ Department of 1) Microbiology, 2) Internal Medicine, 3) Oncology and Hematology, 4) Clinical Pharmacology and Therapeutics, 5) Laboratory Examination and Diagnostics, 6) Ophthalmology, Faculty of Medicine, Oita University
P-17	単鎖抗体(scFv)を用いた HTLV-1 感染細胞特異的 miRNA 輸送システムの構築.....62 西田 亜季 ¹⁾ 、長門石 曉 ²⁾ 、中野 和民 ¹⁾ 、山岸 誠 ¹⁾ 、矢持 忠徳 ¹⁾ 、田中 勇悦 ³⁾ 、津本 浩平 ²⁾ 、渡邊 俊樹 ¹⁾ 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻病態医療科学分野 2) 東京大学工学系研究科バイオエンジニアリング専攻津本研究室 3) 琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座

P-18	HTLV-1-associated Myelopathy(HAM)に対する臨床病理学的視点62
	後藤 孝史 ¹⁾ 、出雲 周二 ²⁾
	1) 大勝病院神経内科
	2) 鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター分子病理病態
P-19	ALK 陰性未分化大細胞リンパ腫 (ALCL) の治療後に慢性型成人 T 細胞性白血病 (ATL) を発症した症例63
	徳永 雅仁 ¹⁾ 、吉田 稚明 ^{2,3)} 、中野 伸亮 ¹⁾ 、窪田 歩 ¹⁾ 、徳永 真弓 ¹⁾ 、糸山 貴浩 ¹⁾ 、牧野 虎彦 ¹⁾ 、竹内 昇吾 ¹⁾ 、高塚 祥芝 ¹⁾ 、瀬戸 加大 ²⁾ 、宇都宮 與 ¹⁾
	1) 今村病院分院 血液内科
	2) 愛知県がんセンター研究所 遺伝子医療研究部
	3) 久留米大学医学部 第2 病理学講座
P-20	HIV 感染者に発症した ATL 急性型の一例63
	加藤 文晴 ¹⁾ 、今泉 芳孝 ¹⁾ 、田口 潤 ¹⁾ 、上条 玲奈 ¹⁾ 、北之園 英明 ¹⁾ 、中島 潤 ¹⁾ 、田口 正剛 ¹⁾ 、松尾 真稔 ¹⁾ 、澤山 靖 ¹⁾ 、今西 大介 ¹⁾ 、波多 智子 ¹⁾ 、大島 孝一 ²⁾ 、宮崎 泰司 ¹⁾
	1) 長崎大学病院血液内科
	2) 久留米大学病理学講座
P-21	モガムリズマブ 2 回目の点滴後に多形滲出性紅斑様の薬疹をきたした難治性 ATL の一例64
	岡村 直香 ¹⁾ 、上田 裕次郎 ¹⁾ 、根津 雅彦 ¹⁾ 、湯浅 博美 ¹⁾ 、伊藤 國明 ¹⁾ 、石井 源一郎 ²⁾ 、塚崎 邦弘 ¹⁾
	1) 国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科
	2) 国立がん研究センター東病院 病理部
P-22	成人 T 細胞白血病/リンパ腫 (ATL) 関連細胞株における DNA 異常メチル化の解析64
	佐藤 妃映 ¹⁾ 、岡 剛史 ²⁾ 、神農 陽子 ²⁾ 、鷲尾 佳奈 ²⁾ 、村上 一郎 ⁴⁾ 、大内田 守 ³⁾ 、宇都宮 與 ⁵⁾ 、高橋 聖之 ¹⁾ 、吉野 正 ²⁾
	1) 岡山大学大学院保健学研究科
	2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学分野 (腫瘍病理/第二病理)
	3) 同 分子遺伝学分野
	4) 鳥取大学医学部分子病理学分野
	5) 慈愛会今村病院分院血液内科
P-23	ATL における新規 PTEN キナーゼの同定と機能解析65
	市川 朝永、中畑 新吾、森下 和広
	宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野・ HTLV-1/ATL 総合診療教育ファシリティー
P-24	成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATLL) における MALT1 発現と予後との関係65
	新野 大介 ¹⁾ 、谷口 広明 ²⁾ 、今泉 芳孝 ²⁾ 、佐々木 大介 ³⁾ 、長谷川 寛雄 ³⁾ 、三好 寛明 ¹⁾ 、郭 英 ¹⁾ 、加藤 文晴 ²⁾ 、柳原 克紀 ³⁾ 、塚崎 邦弘 ⁴⁾ 、宮崎 泰司 ²⁾ 、大島 孝一 ¹⁾
	1) 久留米大 病理学
	2) 長崎大 血液内科
	3) 長崎大 検査部
	4) 国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科
P-25	ATL 細胞は NF-κB シグナル経路を介した足場依存性の multicellular aggregate (MCA) formation によってがん幹細胞様特性を獲得する66
	宮武 由甲子 ¹⁾ 、Noreen Sheefy ²⁾ 、池下 隼司 ¹⁾ 、William W. Hall ²⁾ 、笠原 正典 ¹⁾
	1) 北海道大学大学院・医・分子病理
	2) CRID, UCD, Dublin, Ireland
P-26	Compound C、AICAR および Metformin は AMPK を介さずに HTLV-1 感染細胞株の増殖抑制作用を示す66
	相川 晃慶 ¹⁾ 、小迫 知弘 ¹⁾ 、横松 恵里佳 ¹⁾ 、吉満 誠 ²⁾ 、有馬 直道 ²⁾ 、坂田 晃 ¹⁾ 、本田 伸一郎 ¹⁾ 、添田 泰司 ¹⁾
	1) 福岡大学薬学部
	2) 鹿児島大学医学部
P-27	成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 発症・進展に於ける代謝異常に関するメタボローム解析67
	岡 剛史 ¹⁾ 、阪田 真澄 ²⁾ 、水野 初 ²⁾ 、宇都宮 與 ³⁾ 、藤田 洋史 ⁴⁾ 、升島 努 ²⁾ 、吉野 正 ¹⁾
	1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍病理学分野
	2) 理化学研究所 生命システム研究センター (QBiC) 細胞質量分析研究チーム
	3) 慈愛会今村病院分院
	3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞組織学分野

P-28	フラボノイド類化合物ブテインの抗成人T細胞白血病効果	67
	森 直樹 ¹⁾ 、石川 千恵 ^{1, 2)}	
	1) 琉球大学大学院医学研究科微生物学・腫瘍学講座	
	2) 琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	
P-29	新規 SIRT1 阻害剤による白血病細胞の細胞死に関する検討	68
	内田 友一朗 ¹⁾ 、小迫 知弘 ¹⁾ 、鈴木 孝禎 ²⁾ 、馬島 礼 ¹⁾ 、相川 晃慶 ¹⁾ 、本田 伸一郎 ¹⁾ 、吉満 誠 ³⁾ 、 有馬 直道 ³⁾ 、添田 泰司 ¹⁾	
	1) 福岡大学薬学部	
	2) 京都府立医科大学	
	3) 鹿児島大学医学部	
P-30	USP10 はボルテゾミブによる ATL 細胞のアポトーシスを抑制する	68
	藤井 雅寛、高橋 真奈美、原 敏文、樋口 雅也、高橋 雅彦 新潟大学大学院医歯学総合研究科ウイルス学教室	

HTLV-1 関連疾患研究領域 研究班合同発表会

平成26年度
厚生労働科学研究費

2015年 2月7日(土) 9:30-16:10

東京大学医科学研究所 1号館講堂 東京都港区白金台4-6-1

9:30-9:35 【開会の挨拶】 渡邊 俊樹 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

Session I 9:35-10:50

- | | |
|-------|---|
| 中島 孝 | 国立病院機構新潟病院
希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究 |
| 末廣 陽子 | 国立病院機構九州がんセンター
成人T細胞白血病の治療を目指した病因ウイルス特異抗原を標的とする新規複合的ワクチン療法：抗CCR4抗体を併用した樹状細胞療法 第I/II相試験 |
| 福田 隆浩 | 国立がん研究センター 中央病院
成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立 およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究 |
| 瀬戸 加大 | 久留米大学 医学部
ATLの分子病態に基づく治療層別化のためのマーカー開発と分子標的の同定、および革新的マウス急性型ATL実験モデルを用いた臨床応用への展開 |
| 池田 裕明 | 三重大学 大学院医学系研究科
同種移植後再発の成人T細胞白血病リンパ腫に対する次世代型レトロウイルスベクターによるT細胞レセプター遺伝子導入ドナーリンパ球輸注療法 |

【休憩…10分】

Session II 11:00-12:15

- | | |
|--------|--|
| 神奈木 真理 | 東京医科歯科大学 大学院歯学部総合研究科
HTLV-1感染疾患機序における自然免疫の役割解明と疾患リスク予知への応用 |
| 塚崎 邦弘 | 国立がん研究センター 東病院
臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによるATL標準治療法の開発 |
| 下田 和哉 | 富岡大学 医学部
全例登録を基盤とした臨床情報と遺伝子情報の融合によるATLL予後予測モデル、発症前診断の開発と、ATLLクローン進化機序の解明 |
| 金倉 謙 | 大阪大学 大学院医学系研究科
成人T細胞性白血病/リンパ腫(ATLL)に対するNY-ESO-1+AS15ASCIのモガムリズマブ併用での安全性と有効性探索のための医師主導治験(第I/II相) |
| 石塚 賢治 | 福岡大学病院
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する新規治療を開発する医師主導治験 |

【昼食…45分】

Session III 13:00-14:15

- | | |
|-------|--|
| 出雲 周二 | 鹿児島大学 大学院歯学部総合研究科
HAM及びHTLV-1関連希少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究 |
| 山野 嘉久 | 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発 |
| 山野 嘉久 | 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
HAMに対する革新的な医薬品の開発促進に関する研究 |
| 岡山 昭彦 | 富岡大学 医学部
HTLV-1陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築 |
| 松田 文彦 | 京都大学 ゲノム医学センター
集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築 |

【休憩…10分】

Session IV 14:25-15:55

- | | |
|--------|---|
| 板橋 家頭夫 | 昭和大学 医学部
HTLV-1母子感染予防に関する研究：HTLV-1抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究 |
| 上野 孝治 | 関西医科大学 医学部
HTLV-1感染モデルを用いた抗HTLV-1薬の探索および作用機序の解析 |
| 水上 拓郎 | 国立感染症研究所
抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染モデルの開発とその有効性の検討 |
| 浜口 功 | 国立感染症研究所
HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究 |
| 長谷川 秀樹 | 国立感染症研究所
HTLV-1感染症予防ワクチンの開発に関する研究 |
| 内丸 薫 | 東京大学 医科学研究所附属病院
HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究 |

15:55-16:10 【総合討論…15分】

16:15-17:00 内丸班 【HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究】
【HTLV-1関連疾患研究事業の評価グループ発表会】

【問い合わせ先】 渡邊 俊樹

東京大学大学院新領域創成科学研究科 渡邊研究室内 〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
Phone : 03-5449-5298 FAX : 03-5449-5418 <http://htlv.umin.jp/>

HTLV
ATL
HAM
ぶどう膜炎

入場無料
来聴歓迎

平成26年度 厚生労働科学研究費

「HTLV-1 関連疾患研究領域」 研究班合同発表会プログラム

2015年2月7日（土）東京大学医科学研究所1号館講堂

- 主 催 厚生労働科学研究費
HTLV-1 キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、
相談支援体制整備とATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の
適正な運用に資する研究
研究代表者 内丸 薫（東京大学医科学研究所）
- HTLV-1 関連疾患研究事業の評価グループ
代表 渡邊俊樹（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

9:30-9:35

挨拶

開会の挨拶 渡邊俊樹

Session I

9:35-9:50	希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HAL-HN01）に関する医師主導治験の実施研究.....	4
	中島 孝 国立病院機構新潟病院	
9:50-10:05	成人T細胞白血病の治癒を目指した病因ウイルス特異抗原を標的とする新規複合的ワクチン療法：抗CCR4抗体を併用した樹状細胞療法 第I/II相試験.....	5
	末廣陽子 国立病院機構九州がんセンター	
10:05-10:20	成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究.....	6
	福田隆浩 国立がん研究センター中央病院	
10:20-10:35	ATLの分子病態に基づく治療層別化のためのマーカー開発と分子標的の同定、および革新的マウス急性型ATL実験モデルを用いた臨床応用への展開.....	7
	瀬戸加大 久留米大学医学部	
10:35-10:50	同種移植後再発の成人T細胞白血病リンパ腫に対する次世代型レトロウイルスベクターによるT細胞レセプター遺伝子導入ドナーリンパ球輸注療法.....	8
	池田裕明 三重大学大学院医学系研究科	
10:50-11:00	休憩	

Session II

11:00-11:15	HTLV-1感染疾患機序における自然免疫の役割解明と疾患リスク予知への応用.....	9
	神奈木真理 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野	
11:15-11:30	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによるATL標準治療法の開発.....	10
	塚崎邦弘 国立がん研究センター東病院	
11:30-11:45	全例登録を基盤とした臨床情報と遺伝子情報の融合によるATLL予後予測モデル、発症前診断の開発と、ATLLクローン進化機序の解明.....	11
	下田和哉 宮崎大学医学部	
11:45-12:00	成人T細胞性白血病／リンパ腫（ATLL）に対するNY-ESO-1+AS15ASCIのモガムリズマブ併用での安全性と有効性探索のための医師主導治験（第I/II相）.....	12
	金倉 謙 大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学	
12:00-12:15	成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）に対する新規治療を開発する医師主導治験.....	13
	石塚賢治 福岡大学	
12:15-13:00	昼食	

Session III

13:00-13:15	HAM及びHTLV-1 関連希少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究.....	14
	出雲周二 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター	
13:15-13:30	HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発.....	15
	山野嘉久 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	
13:30-13:45	HAMに対する革新的な医薬品の開発促進に関する研究.....	16
	山野嘉久 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	
13:45-14:00	HTLV-1 陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築.....	17
	岡山昭彦 宮崎大学医学部	
14:00-14:15	集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築.....	18
	松田文彦 京都大学ゲノム医学センター	
14:15-14:25	休憩	

Session IV

14:25-14:40	HTLV-1 母子感染予防に関する研究： HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究 中間報告.....	19
	板橋家頭夫 昭和大学医学部小児科	
14:40-14:55	HTLV-1 感染モデルを用いた抗HTLV-1薬の探索および作用機序の解析.....	20
	上野孝治 関西医科大学医学部	
14:55-15:10	抗HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染モデルの開発とその有効性の検討.....	21
	水上拓郎 国立感染症研究所血液・安全性研究部	
15:10-15:25	HTLV-1 疫学研究及び検査法の標準化に関する研究.....	22
	浜口 功 国立感染症研究所血液・安全性研究部	
15:25-15:40	HTLV-1 予防ワクチンの開発に関する研究.....	23
	長谷川秀樹 国立感染症研究所感染病理部	
15:40-15:55	HTLV-1 キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備と ATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究.....	24
	内丸 薫 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科	

15:55-16:10

総合討論

16:15-17:00

HTLV-1 関連疾患研究事業の評価グループ会議

V. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kobayashi S, Nakano K, Watanabe E, Ishigaki T, Ohno N, Yuji K, Oyaizu N, Asanuma S, Yamagishi M, Yamochi T, Watanabe N, Tojo A, Watanabe T, <u>Uchimaru K</u>	CADM1 expression and stepwise downregulation of CD7 are closely associated with clonal expansion of HTLV-I-infected cells in adult t-cell leukemia/ lymphoma.	Clin Cancer Res	Jun 1:20(11)	2851-61	2014
<u>内丸 薫</u>	わが国における HTLV-1キャリアと ATL患者に対する相 談機能と知識の普及	血液内科	68(1)	58-64	2014
<u>齋藤 滋</u>	HTLV-1 —その発見 から母子感染対策事 業となるまで—	日本産科婦人科 学会雑誌	66(4)	1155-1161	2014
<u>森内 浩幸</u>	特集 母乳をめぐる 諸問題 母乳とヒトT 細胞白血病ウイルス I型 (HTLV-1) 感染	東京小児科医会 報	32(3)	14-19	2014
<u>Satake M,</u> Yamada Y, Atogami S, Yamaguchi K	The incidence of adult T-cell leukemia/lymphom a among human T-lymphotropic virus type 1 carriers in Japan.	Leukemia and Lymphoma	56	1-7	2015
<u>柘植 薫</u>	HTLV-1キャリア女 性の心理的葛藤と必 要なフォロー	助産雑紙	68(1)	27-31	2014

<u>Fukushima T, Ishitsuka K (8番目22人中), Tobinai K (21番目22人中), Tsukasaki K (22番目22人中)</u>	The Japan Clinical Oncology Group (JCOG) prognostic index and characterization of long-term survivors of aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma (JCOG0902A)	Br J Haematol	166	739-748	2014
<u>Tsukasaki K, Tobinai K</u>	Human T-cell leukemia virus type I-associated adult T-cell leukemia-lymphoma: new directions in clinical research	Clin Cancer Res	20(20)	5217-5225	2014
<u>Ishitsuka K, Tamura K</u>	Human T-cell leukaemia virus type I and adult T-cell leukaemia-lymphoma	Lancet Oncol	15(11)	e517-e526	2014

VI. 研究成果の刊行物・別刷

CADM1 Expression and Stepwise Downregulation of CD7 Are Closely Associated with Clonal Expansion of HTLV-I-Infected Cells in Adult T-cell Leukemia/Lymphoma

Seiichiro Kobayashi¹, Kazumi Nakano⁵, Eri Watanabe², Tomohiro Ishigaki², Nobuhiro Ohno³, Koichiro Yuji³, Naoki Oyaizu⁴, Satomi Asanuma⁵, Makoto Yamagishi⁵, Tadanori Yamochi⁵, Nobukazu Watanabe², Arinobu Tojo^{1,3}, Toshiki Watanabe⁵, and Kaoru Uchimaru³

Abstract

Purpose: Cell adhesion molecule 1 (CADM1), initially identified as a tumor suppressor gene, has recently been reported to be ectopically expressed in primary adult T-cell leukemia-lymphoma (ATL) cells. We incorporated CADM1 into flow-cytometric analysis to reveal oncogenic mechanisms in human T-cell lymphotropic virus type I (HTLV-I) infection by purifying cells from the intermediate stages of ATL development.

Experimental Design: We isolated CADM1- and CD7-expressing peripheral blood mononuclear cells of asymptomatic carriers and ATLS using multicolor flow cytometry. Fluorescence-activated cell sorted (FACS) subpopulations were subjected to clonal expansion and gene expression analysis.

Results: HTLV-I-infected cells were efficiently enriched in CADM1⁺ subpopulations (D, CADM1^{pos}CD7^{dim} and N, CADM1^{pos}CD7^{neg}). Clonally expanding cells were detected exclusively in these subpopulations in asymptomatic carriers with high proviral load, suggesting that the appearance of D and N could be a surrogate marker of progression from asymptomatic carrier to early ATL. Further disease progression was accompanied by an increase in N with a reciprocal decrease in D, indicating clonal evolution from D to N. The gene expression profiles of D and N in asymptomatic carriers showed similarities to those of indolent ATLS, suggesting that these subpopulations represent premalignant cells. This is further supported by the molecular hallmarks of ATL, that is, drastic downregulation of miR-31 and upregulation of abnormal *Helios* transcripts.

Conclusion: The CADM1 versus CD7 plot accurately reflects disease progression in HTLV-I infection, and CADM1⁺ cells with downregulated CD7 in asymptomatic carriers have common properties with those in indolent ATLS. *Clin Cancer Res*; 20(11); 2851–61. ©2014 AACR.

Introduction

Human T-cell lymphotropic virus type I (HTLV-I) is a human retrovirus that causes HTLV-I-associated diseases, such as adult T-cell leukemia-lymphoma (ATL), HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis, and HTLV-I uveitis (1–3). In Japan, the estimated lifetime risk of developing ATL in HTLV-I carriers is 6% to 7% for males

and 2% to 3% for females (4–6). It takes several decades for HTLV-I-infected cells to reach the final stage of multistep oncogenesis, which is clinically recognized as aggressive ATL (acute-type and lymphoma-type; ref. 7). Molecular interaction of viral genes [e.g., Tax and the HTLV-I basic leucine zipper (HBZ) gene] with the cellular machinery causes various genetic and epigenetic alterations (7–11). However, difficulties in purifying HTLV-I-infected cells *in vivo* seem to have hindered understanding of the genetic events that are directly involved in the multistep oncogenesis of ATL.

Upregulation or aberrant expression of cell surface markers, such as CCR4 and CD25, is useful for diagnosis of ATL and has been utilized for molecular-targeted therapy (12, 13). However, the expression levels of these markers vary among patients, which often make it difficult to identify ATL cells specifically based on the immunophenotype. Previously, we focused on downregulated markers in acute-type ATL cells, such as CD3 and CD7, and successfully purified ATL cells using the CD3 versus CD7 plot of CD4⁺ cells (14). Analysis of other clinical subtypes

Authors' affiliations: ¹Division of Molecular Therapy; ²Laboratory of Diagnostic Medicine, Division of Stem Cell Therapy; ³Department of Hematology/Oncology, Research Hospital; ⁴Clinical Laboratory, Research Hospital, Institute of Medical Science; and ⁵Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

Note: Supplementary data for this article are available at Clinical Cancer Research Online (<http://clincancerres.aacrjournals.org/>).

Corresponding Author: Kaoru Uchimaru, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, 4-6-1 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-8639, Japan. Phone: 81-3-5449-5542; Fax: 81-3-5449-5429; E-mail: uchimaru@ims.u-tokyo.ac.jp

doi: 10.1158/1078-0432.CCR-13-3169

©2014 American Association for Cancer Research.